

返送時期による郵送調査の回答の差異

——「多様化する消費生活に関する調査」を通して——

ビデオリサーチ 朝倉真粧美

1 目的

この報告の目的は、郵送調査の返送時期によって回答に差異が見られるかどうかを検証することである。

朝倉（2009）は、返送が早い回答者は社会に対する関心が高く、返送が遅い回答者は早い回答者に比べて消費に対する関心が高いという結果を得た。本報告では、異なる調査データで同様の傾向が見られるかどうかという点を中心に検証していく。

2 方法

データとして使用するのには、2010年にグローバル消費文化研究会（代表：間々田孝夫）が中央調査社に委託して実施した「多様化する消費生活に関する調査」の結果である。この調査は、新宿駅40km圏の15歳以上70歳未満の男女を対象とした郵送調査で、調査期間は2010年9月～10月である。計画標本4000に対し、有効回収数は1749であった。

調査票返送の締切が9月30日なので、10月1日以降に到着した票を「締切後返送者」（以下、「締切後」）、9月30日までに到着した票を「締切前返送者」とした。「締切前返送者」（以下、「締切前」）のうち特に返送が早かったものを「早期返送者」（以下、「早期」）として区別し、回答者を三つのグループに分けて分析を試みた。

3 結果

まず、性別・年代別に各グループの分布を見てみると、「早期」の割合が高いのは女性60代、男性50代で、「締切後」の割合が高いのは男性20代であった。

次に、政治への関心を見てみると、政治に関心がある割合、参議院選挙で投票した割合は、いずれも「締切後」<「締切前」<「早期」の順に高くなっている。また、提示した政治問題に対して関心のあるものを選んでもらったところ、選択数の平均は「締切後」<「締切前」<「早期」の順に多くなっていた。

次に、消費に関する回答を見てみる。買い物での配慮という点では「締切後」<「締切前」<「早期」の順に平均選択数が多くなっている。一方、買い物についての考え方や行動がどのくらいあてはまるかを4件法で尋ねた質問では、返送時期の順番に比例した増加、あるいは減少といった傾向は、ほとんど見られなかった。

4 結論

以上から、返送時期が早い回答者ほど政治への関心が高いことが明らかになった。一方、消費意識については返送時期との明確な関連性を見出すことはできなかった。

文献

朝倉真粧美, 2009, 「郵送調査における早期返送者と後期返送者の比較」『立教大学大学院社会学研究科年報』16: 35-48.

【謝辞】 本研究は科研費（課題番号：22330160）の助成を受けたものである。